

吸排気筒周辺の雪に注意!!



119 消防署より

下川消防署 ☎・☆4-2119

FF式暖房機等の給排気筒が吹き溜まりや落雪によって埋まり、不完全燃焼を起こして重大な事故につながる可能性があります。屋根からの落雪に十分注意して、定期的に給排気筒周辺の除雪を実施しましょう。また、落雪により灯油タンクやガスの配管が破損する場合がありますので併せて確認しましょう。

FF式ストーブの給排気



燃えにくい防災品を使用しましょう!

防災製品は、公益財団法人日本防災協会が自主的に認定制度を設け、一定の基準以上の防災性能を有するものを防災製品として認定しているものです。消防法令により使用義務となる防災物品と異なり、消防法令に定めがなく自主的に使用するものとして位置づけられているものをいいます。しかし、寝具類、衣服類、布張家具等に防災製品を使うことで、これらへの着火防止や火災の延焼速度を遅らせる効果が期待できることから、その使用を推奨しています。防災物品、防災製品は次のようなラベルで表示されています。

消防庁登録者番号
防 災
登録確認機関名 財団法人 日本防災協会

	事業所番号
防災製品	(財) 日本防災協会

防災品の特徴として、たばこやライターなどの小さな火に接しても燃え広がりにくく、火を離せば自然に消火する機能があります。公益財団法人日本防災協会のホームページでは防災品の有効性を動画でも掲載していますので、そちらもご覧ください。

市販されているものでは、カーテン、じゅうたん、パジャマ、シーツ、エプロン、枕、布団、自動車やオートバイのボディカバーなどがあります。

日ごろから火の元に注意することはもちろん大切ですが、例えば、カーテンを取り替える機会には防災品を使用するなど、火災になりにくい環境づくりにも併せて心掛けましょう。

※防災物品・防災製品は「燃えないもの」ではなく、「燃えにくいもの」です。

平成31年の状況(1月末現在)	
火災件数	0件
救急出動回数	17件